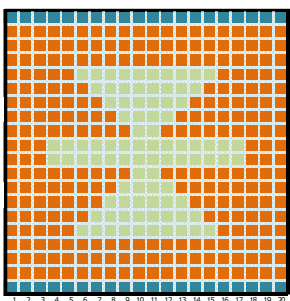




写真：笹谷遼平

### ■斜め織り

斜めの直線ラインを出すための織り技法です。タテ糸1本ずつ数段ごとに折り返しをずらして織ります。基本の段数は3段で、3段ごとの斜め織りで45°くらいの傾斜となります。



耳飾りは結婚式でつける三角のイヤリングで、幸せな結婚を願うモチーフです。

### ●耳飾りモチーフ



- 1 十字モチーフと同様に緑青糸で2段半、柿糸で9段くらい織る。
- 2 耳飾りモチーフの△部分を織りはじめる前に、柿糸の終わりが右端の場合、右側5本を3段織り、左側の柿糸を準備する。右側6本目くらいから差し込み左端まで通し配置しておく。次に薄緑糸を中央10本分の左から右へ下糸5本をピックアップしてスタート。



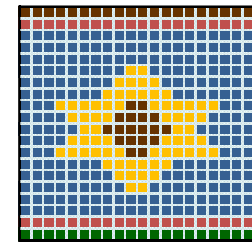
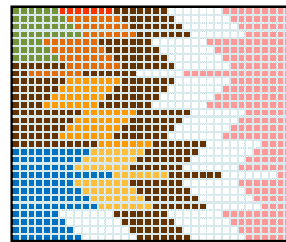
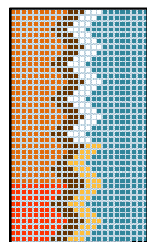
- 3 薄緑糸で中央10本を3段織り、1本ずつ内側の8本を3段、6本を3段と2本まで3段ごと三角状に織る。



- 4 両端の柿糸を3段ごと5本、6本と薄緑糸の隣のタテ糸まで織る。柿糸9本を3段まで織ったら、糸はそれぞれ織り端で休ませる。モチーフの薄緑糸を14本（両端3本ずつ残す）を6段スリット織りする。その後は、柿糸を3本6段織り、中央2本を残し3段ごと斜めにタテ糸5本になるまで織り、最後に薄緑糸で中央の残りを2本から増やしながらか織り埋める。

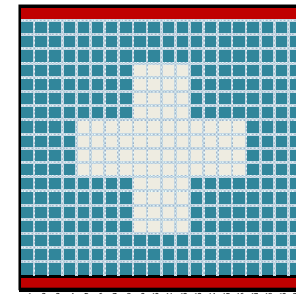


- 5 2 同様に3本の糸が交互になるように織り左右どちらかの柿糸で9段くらい織り、最後に緑青糸で2段半織り、織り終わりをし、タテ糸の始末をして完成。



### ■スリット織り

トルコキリムの最大の特徴であるスリット織り。色ごとにタテ糸で折り返して織るため、隙間ができますが、両面全く同じになります。階段状の幾何学模様に適した技法です。すべて指で織るため、模様色のタテ糸の本数を減らして織る山状の部分を先に織り、タテ糸の本数が増えていく谷状の部分を埋めていくイメージで織ります。



十字は嫉妬のような邪悪な視線を、四方に分散しはねつける、お守りのようなモチーフです。

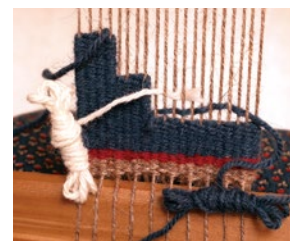
### ●十字モチーフを織る

- 1 十字モチーフの外側のベース部分から織ります。最初はタテ糸20本分で高さが1コマなので図案では赤茶糸3段ですが、2段半織り、3cm折り返し右側で終わらしましょう。次の緑青糸を右側3cm下糸をピックアップして折り返して3コマ×3段=9段（9往復）織ります。この9段は厳密でなくても大丈夫。



#### モチーフを織る

- 2 ベースの緑青色はタテ糸8コマなので8本、高さは4コマ=4×3段=12段織る（※この12段の数え方は、折り返した8本目のタテ糸に絡んだ糸の数）。左側8本を12段織り、階段状に左側4本を12段織る。



- 3 次に右側のベースの緑青糸を残った12本の左端から下糸をピックアップして入れ、中央の4本に右から左に生成糸を配置しておく。



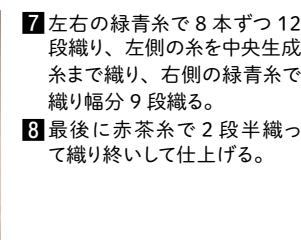
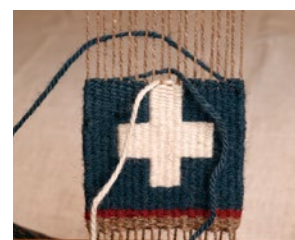
- 4 右側を緑青糸で8本12段→4本12段織るが、この部分は生成糸の凹み部分より後に織ることも可能。



- 5 中央の凹み部分に生成糸を右左のスリット部分がきつくなったりゆるくなったりしないように12段織る。



- 6 そのまま左右4本ずつ増やした12本分12段織り、中央4本を12段と十字模様を織る。



- 7 左右の緑青糸で8本ずつ12段織り、左側の糸を中央生成糸まで織り、右側の緑青糸で織り幅分9段織る。
- 8 最後に赤茶糸で2段半織って織り終えて仕上げる。

- 9 タテ糸の始末をし、完成。

